

コープデリ 生活協同組合 連合会案内

2026/2027

Co-opdeli consumers' co-operative union Profile



co-op
コープデリ

コープデリ連合会

「ともに」の力で、笑顔の明日を

私たちの取り組みは、 組合員のくらしにつながっています。

コープデリ生活協同組合連合会(コープデリ連合会)は、
コープデリグループの宅配や店舗などの事業基盤を担い、
連帯と共同化を推進することで各会員生協を支援しています。

コープデリグループの存在を「樹木」に例えるならば、
私たちの活動は文字通り「根」の役割を果たしています。
表舞台で組合員の皆さまの目に留まることは決して多くありませんが、
私たちが強固な事業基盤を構築・維持することが、会員生協の活動を支える土台となります。
そしてその先にこそ、「組合員のよりよいくらし」という「花」が結実するものと確信しています。

私たちはこれからも、一つでも多くの豊かな花を咲かせるための礎となり、
会員生協とともに着実な歩みを進めてまいります。



コープデリ
連合会



会員
生協

理念

CO-OP

ともに はぐくむ 暮らしと未来

理念は、数十年変わらない、私たちの存在意義、存在理由、使命です。
どんなに社会が変化しても、生協がどうあるべきかを指し示す「北極星」のようなものです。

ビジョン2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし
「ともに」の力で、^{あした}笑顔の明日を

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

ビジョン2035は、組合員・働く仲間がともに掲げる2035年のありたい姿を表したものです。



組合員
生活者

るため、 います。

る業務が存在します。

コープデリグループ会員生協合計 ※2026年3月20日現在

組合員 **5,530,000人**

コープデリグループは、関東信越1都7県の500万人を超える組合員に支えられた、日本最大規模の地域生協のネットワークです。コープデリ連合会と6つの会員生協（コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープながの・コープデリにいがた）およびグループ会社で構成されています。



生協

会員生協の役割

商品・サービスの提供を通じて、地域のくらしを支えます。

宅配・店舗事業を軸に、多様なサービスを展開しています。組合員や地域の声に耳を傾け、日々のくらしを支えるパートナーとして、豊かなくらしづくりに貢献します。



多様な商品やサービスが、 組合員のくらしを彩ります。



コープデリ 宅配事業

「つかうほど、じぶんらしく。」をブランドメッセージに掲げ、一人ひとりのライフスタイルに寄り添う宅配サービスを展開しています。食品や日用品をまとめてお届けする「ウイークリーコープ」は、6,000品目以上の豊富な商品から週1回、決まった曜日・時間帯に、グループ約6,500台のトラックで組合員の皆さまのご自宅までお届けしています。週3日からお弁当(夕食宅配)や料理キットをお届けする「デイリーコープ」もご用意しています。

福祉 事業



CO・OP 共済は、生協の保障事業として組合員の声を反映し、手頃な掛金や充実した保障内容、簡便な手続きの実現に向けた改善を常に続けています。グループ会社の株式会社コープデリ保険センターでは、一般社団法人生命保険協会による「業務品質評価運営」の認定代理店として、より質の高い安心を提供。組合員とご家族に寄り添い、役立つ事業を目指しています。

保障 事業



「おいしさと安心を、うれしい価格で。」を事業目標に、スーパーマーケット(SM)および小型店「ミニコープ」を展開しています。また、一部の生協ではネットスーパーや移動店舗など、多様な業態を通じて組合員との接点を広げています。コープ商品や産直商品、店内加工品といった「コープならではの」価値ある商品を取りそろえ、魅力的な売り場づくりに邁進しています。

※コープデリにいがたに店舗はありません。

コープみらい、いばらきコープ、コープぐんま、コープながのの4会員生協で展開しています。居宅介護支援や訪問介護(ホームヘルパー)、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅などの運営などを通じて、「住み慣れた自宅や地域で最期まで安心して暮らしたい」という組合員の願いに寄り添い、地域福祉の向上に貢献します。

※会員生協により取り扱いのないサービスがあります。

コープデリ 店舗事業



株式会社コープデリサービスは、コープデリグループの一員として、日々の暮らしに役立つさまざまなサービスをお届けしています。チケット部門では心がはずむ体験や感動をお届けし、暮らしのサービスおよびハウジング事業では日々の生活に寄り添い、お一人おひとりの心地よい住まいづくりと生活をサポートします。また、葬祭事業(コプセ)では、故人への感謝の気持ちを大切に、ご遺族が新たな暮らしを踏み出すお手伝いをしています。

※会員生協により取り扱いのないサービスがあります。

エネルギー 供給事業



野田船形物流センターの
太陽光発電パネル

コープデリグループの事業所に設置した太陽光発電パネルによる発電電力を含む「再生可能エネルギー100%メニュー」と、手頃な価格の「ベーシックメニュー」の2種類からなる「コープデリでんき」を提供しています。また、会員生協のコープみらいでは、経済性を追求した都市ガス事業「コープデリガス」も展開。エネルギーの供給を通じて、環境負荷の低減と家計にやさしい暮らしをサポートしています。

※コープデリにいがたにエネルギー供給事業はありません。

*コープながのではベーシックメニューの取り扱いはありません。

サービス 事業



組合員の声に耳を傾け、くらしにやさし 配慮した商品を開発。安定的にお届けし

商品開発・管理

フードチェーン全体で食品の安全性と品質の確保に努め、普段のくらしに役立つ商品提供を通して、健康的な生活と豊かで楽しい食卓を応援します。

組合員の“想いをかたちに”したコープ商品

コープ商品は、「安全性の確保」「確かな品質」「利用しやすい価格」「わかりやすい情報提供」を基準に、組合員の声に耳を傾けながら開発・改善を行っています。商品を通じた対話を重ね、日本生協連とともに、組合員のくらしをより豊かにする価値ある商品づくりを続けています。



声をかたちに、より良い商品へ

日常のくらしの中の気づきを「組合員の声」として届けていただくことが、コープへの大切な参加のかたちであり、商品の改善へとつながります。2025年度はコープデリグループ全体で約14万件ものご意見が寄せられました。私たちは、いただいた声を既存商品のブラッシュアップや新商品の開発、サービスの向上に反映させています。



組合員・生産者とともに取り組む「産直」

1970年代に始まったコープデリの「産直」は、生産者と組合員が顔の見える関係をつくり、安全性が確保され、おいさと環境配慮を兼ね備えた、生い立ちがはっきりわかる農畜水産物をお届けする取り組みです。多面的な交流やパートナーシップを通じて信頼関係を築き、持続可能な農畜水産物の生産と消費を支え、未来へつなぐことを目指しています。



安全と安心を見守る商品検査センター

独自の商品検査センターを運営し、残留農薬、微生物、食物アレルギー、食品添加物、放射性物質など、年間約1万4千件(2025年度)におよぶ検査を実施しています。法令および自主基準への適合性を科学的な視点で厳格に判定し、継続的な品質改善を推進。また、組合員から寄せられたお申し出に関する検査にも迅速に対応し、食の安全・安心を支えています。



トピックス

伊平屋島産もずくが、海の資源を守る MEL 認証を取得

沖縄県・伊平屋島産もずくが、日本発の水産エコラベル認証制度「MEL」の養殖認証を取得しました。これは、島の人々が豊かな自然と共存しながら、持続可能な養殖を行っていると認められた証です。背景には、「美ら島応援もずくプロジェクト」があります。対象商品1点の利用につき1円を寄付し、島の自然環境・生物多様性の保全を支援する取り組みです。環境に配慮した「選んで食べる」仕組みが、国際基準の認証取得という形で結実しました。



く環境や社会に ています。

物流

物流拠点を各地域へ最適に配置することで、会員生協が取り扱う週6,000品目以上の宅配商品、および店舗への豊富な商品供給を安定的かつ効率的に支えています。組合員のニーズに応じた商品を正確に集品・荷し、各地域の宅配センターや店舗へ確実に配送。また、自動化システムを積極的に導入することで、作業品質の安定化とさらなる生産性の向上を追求しています。



生産

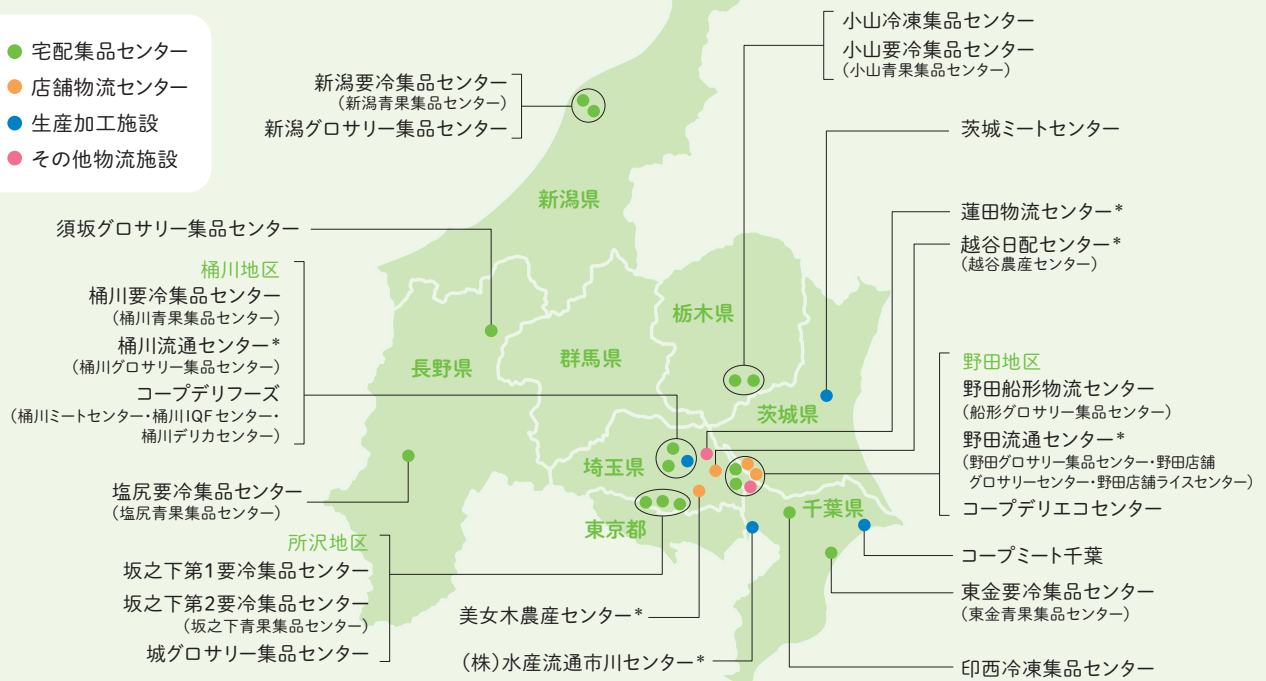
グループ会社の株式会社コープデリフーズおよび株式会社コープミート千葉が、畜産商品や店舗用の惣菜、ベーカリー原料などの加工・生産を担っています。食品製造工場として、安全確保と品質衛生管理を徹底。その一環として、コープデリフーズの桶川ミートセンターおよび桶川IQFセンター*では、食品安全マネジメントシステムの国際標準である「JFS-C規格」の認証を取得し、高度な安全管理体制を構築しています。



* IQF: Individual Quick Frozen (個別急速冷凍)

コープデリ関係の物流・生産拠点

- 宅配集品センター
- 店舗物流センター
- 生産加工施設
- その他物流施設



コープデリ連合会以外の施設には「」を付けています

2026年6月現在

未来へつなごう

一歩ずつ、持続可能な社会に 向かって歩いていく。

笑顔あふれる未来へつなぐために。

コープデリグループは、2030年に向けた世界共通の取り組みであるSDGsの達成に向け、5つの重点課題を設定。「未来へつなごう」をスローガンに、持続可能な生産と消費や、地域社会や組合員のくらしで生まれた課題の解決のために、事業と活動を通してさまざまな取り組みを推進しています。

01 | 持続可能な生産と消費のために

エシカル商品の開発・普及で共感を広げ、人権や環境に配慮した責任ある調達を推進します。産地と連携し持続可能な生産・消費に貢献するとともに、事業と家庭の両面で容器包装プラスチック、食品ロスの削減に取り組みます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



商品を通じた持続可能な社会づくり

組合員が商品を利用することで、自然環境の保護や社会課題の解決に無理なく参加できる取り組みを進めています。この活動を通じて、生物多様性の保全に貢献し、持続可能な農業を推進するほか、アフリカの子ども・母親への支援など、幅広い社会貢献を実現しています。



美ら島応援もずくプロジェクト



佐渡トキ応援お米プロジェクト



お米育ち豚プロジェクト



ハッピーミルクプロジェクト

02 | 安心して暮らせる地域づくりのために

地域を支えるインフラとして事業改善を続け、自治体や住民と連携した支え合いの仕組み作りを推進します。また、被災地の復興支援に加え、防災・減災に向けた地域との協力体制を強化し、安心できるくらしを守り続けます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



災害復興支援、生活困窮者支援

地震や豪雨などの自然災害が頻発する中、会員生協は組合員への募金呼びかけや被災地への職員派遣など、復興支援に注力しています。また、フードバンクなどを通じた食料支援のほか、会員生協ではひとり親世帯や両親のいない家庭の高校生を対象とした、返済不要の奨学金給付事業を展開。困難な状況にある方々に寄り添い、地域社会のセーフティネットとしての役割を果たしています。

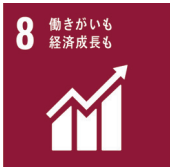


03 | 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して

人権と多様性を尊重し、誰もが個性や能力を活かして活躍できる組織を目指します。特にジェンダー平等の実現を重視し、性別を問わず全ての職員が等しく役割を発揮し、生き生きと働ける環境づくりを推進します。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



働く人と働き方の多様性を尊重

不妊治療や育児・介護との両立、女性職員の育成・キャリア開発、シニア活躍など、多様な職員が個性や能力を発揮し、「ウェルビーイング」を実感できる職場づくりに取り組んでいます。「健康経営優良法人」の認定を受け、誰もが幸せに働ける組織を目指します。



健康経営優良法人2026
(大規模法人部門)に認定

04 | 100年後の地球のために

温室効果ガスの削減を推進します。再生可能エネルギーの利用拡大により持続可能な社会へ貢献するとともに、生物多様性の保全や自然回復に向けた環境活動を広げます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



地球温暖化防止

物流センターなどの施設に設置した太陽光発電パネルや、店舗から排出される食品残さの一部を利用したバイオガス発電の電気など、再生可能エネルギーの創出と活用を進めています。また、電動化(EV導入)を主とした車両燃料の低炭素化を推進しています。



05 | 世界中の人々の平和で健康な生活のために

飢餓や貧困の解消、子どもの健やかな成長と人権保護に努め、世界の平和に貢献します。核兵器廃絶と戦争のない未来を目指し、平和について学び、その大切さを次世代へ語り継ぐ活動を積極的に推進してまいります。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



ハッピーミルクプロジェクト

アフリカでは自然災害や栄養不良により、今も多くの子どもたちが命の危険にさらされています。コープデリグループは「コープの牛乳で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、2008年から「ハッピーミルクプロジェクト」を展開。コープの牛乳の売上の一部をユニセフへ寄付することで、現地の栄養改善活動を継続的に支援し、幼い命を守る取り組みを進めています。



ごあいさつ



代表理事 理事長 くまざき しん
熊崎 伸

コープデリグループの事業と活動へのご協力・ご支援に、心より御礼申し上げます。

コープデリグループは、持続可能な社会の実現に貢献するため、「SDGs重点課題～2030年までの長期目標と中期方針～」を策定し、「未来へつなごう」のスローガンのもと、さまざまな取り組みを進めています。私たちは協同組合の特徴と強みを生かし、事業と活動の総合力で社会課題の解決に挑んでまいります。

世界では、中東をはじめ各地で紛争・戦争が激化し、軍事的緊張はかつてないほど高まっています。これは決して遠い地域の話ではなく、世界的な物流の遅延や混乱はさらなる物価高騰を招き、私たちの暮らしへの大きな脅威となっています。生協は、これまでも組合員とともに平和を願う取り組みを続けてきました。2026年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議には、生協代表団にコープデリ連合会として参加し、核兵器廃絶を強く訴えました。平和とは、あたりまえの日常が続くこと。これからも、次世代に平和のバトンをつなぐ取り組みを前進させてまいります。

一方、国内では近年の酷暑に代表される気候変動や資材価格の高騰、生産者の高齢化・後継者の不足など、農畜水産業を取り巻く環境は厳しさを増しています。安全で安定した食品供給を実現するためには、生産者の皆さまが将来にわたり安心して生産できる環境づくりが不可欠

です。コープデリグループでは、組合員が生産者の想いやこだわりを知り、応援する取り組みを進めてきました。その1つが2025年度より開始した「JAつがる弘前りんご生産者サポート」です。組合員の皆さまから会費制のサポーターを募集し、苗木の植樹など産直産地の生産者を応援しています。こうした取り組みをさらに広げ、持続可能な生産と消費の実現とSDGsの達成に貢献します。

関東信越6生協が加盟するコープデリ連合会は、会員生協の宅配や店舗運営の本部機能を担い、商品調達や物流、システム、人事など幅広い分野で共同化を進め、事業連携の要としての役割を果たしてまいりました。会員生協のコープぐんまが2026年、創立70周年を迎えたことは、私たちの取り組みの歴史の深さを物語るものです。社会環境が刻々と変化する中でも、積み重ねてきた連帯を基盤に、会員生協の事業や活動を支え、より豊かな社会づくりに貢献します。

これからも生産者・取引先・行政・諸団体の皆さまとのパートナーシップを大切に、気候変動への対応、資源循環の推進、人権を尊重した調達・事業活動、災害時にも供給を維持できる事業基盤の強化などに取り組みます。組合員の暮らしに貢献し、「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向け、「ともに」の力で笑顔の明日を迎えられる社会を目指してまいります。

2026年6月

社会の情勢に対応し、より良い機能や体制を構築しながら、 会員生協と組合員のくらしを支えてきました。

- 1986年度 ○ 北関東3県(茨城・栃木・群馬)10生協による、日本初の県域を越えた生協の事業連帯組織「北関東協同センター」創立
- 1990年度 ○ いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま(当時は前身の群馬県民生協・前橋市民生協)・ちばコープ・さいたまコープで任意団体「東関東コープネットワーク」を設立
○ (株)コープサービス(現「コープデリサービス」)設立
- 1992年度 ○ コープネット事業連合(現「コープデリ連合会」)設立
- 1993年度 ○ 北関東協同センターがコープネットに加入
- 1995年度 ○ 商品検査センター開設、コープネット会計システム運用開始
- 1996年度 ○ いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・さいたまコープの4生協、共同購入商品案内統一開始
- 1997年度 ○ 店舗物流システム改革
- 1998年度 ○ 日本生協連DC(新桶川店舗物流センター)共同利用開始
- 1999年度 ○ さいたまコープ・コープぐんま、生鮮商品部業務受託
○ コープとうきょうがコープネットに加入
- 2000年度 ○ 日本生協連、コープとうきょうと商品共同開発
○ コープネット酒類販売(株)(現「コープデリ酒類販売」)設立
- 2001年度 ○ 組合員サービスセンター開設
○ 都民保険センターを(株)コープネット保険センターに改め、コープとうきょうから移管(現「コープデリ保険センター」)
- 2002年度 ○ (株)コープミート千葉設立にあたり、ちばコープが出資参画
- 2003年度 ○ いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・さいたまコープ向け共同購入商品案内セットセンター稼働開始
○ 全会員生協インターネット受注開始
○ 北関東協同センター合併
- 2004年度 ○ さいたまコープ・コープとうきょうと三者共同中期計画設定
○ (有)境食肉センター(現「コープデリフーズ」)を子会社化
○ 組合員参加の商品委員会・共同購入委員会・店舗委員会設置
- 2005年度 ○ 店舗POSシステム統合開始
○ コープながのがコープネットに加入
○ さいたまコープから(株)コープ開発(現「協同開発」)を移管
○ 協栄流通(株)を子会社化
- 2006年度 ○ 共同購入商品案内の名称をグループ全体で『ハピ・デリ!』に統一
○ グループ共通の理念「CO-OPともにはぐむくらしと未来」と2015年ビジョン策定
- 2007年度 ○ グループ統一のシンボル「グリーンバルーン」と宅配事業の事業ブランド「コープデリ」、キャラクター「ほべたん」を開発
○ 市民生協いいがた(現「コープデリいいがた」)がコープネットに加入
○ (株)コープワーキングサポート設立
- 2008年度 ○ コープデリ宅配事業の運営システム統合
○ コールセンター開設
- 2009年度 ○ (株)コープネットフーズ(現「コープデリフーズ」)設立
○ 印西冷凍集品センター開設
- 2010年度 ○ 野田グロサリー集品センター、エコセンター開設
○ ネットスーパー事業開始
○ 桶川IQFセンター開設
○ 夕食宅配事業開始
○ 東日本大震災の被災に対して、被災地支援と事業継続、早期施設復旧と安定稼働、節電に取り組む
○ 全会員生協人事制度統一
- 2011年度 ○ 東日本大震災被災に対し、大規模災害を想定した対応(耐震工事含む)強化
- 2012年度 ○ (株)コープサービスと(株)コープホーム、協栄流通(株)と(株)コープ運輸、(株)コープワーキングサポートと(株)コープアルファがそれぞれ合併
- 2013年度 ○ 首都圏3生協(ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょう)の組織合同によりコープみらい誕生
○ 料理キット(そろってGood!)開発、夕食宅配で「料理キット」配達開始
- 2014年度 ○ コープネットグループのめざす姿「ビジョン2025」を策定
○ サービス事業のECサイト開設
- 2015年度 ○ 「思いをかたちにSMILING CO・OP」をブランドメッセージにCO・OP商品ブランドを刷新
○ 協栄流通(株)を分社化、宅配事業を担う(株)トラストシップ設立
- 2016年度 ○ 宅配新システム・総合ECサイト(インターネットサイト)へのリニューアル
○ 大宮デリカセンター開設
○ 店舗事業のポイントカードを、プリペイドカード式電子マネー機能を持った「ほべたんカード」に切り替え開始
○ 小山冷凍集品センター開設
- 2017年度 ○ 「生活協同組合連合会コープネット事業連合」から「コープデリ生活協同組合連合会」へ名称変更
○ コープクルコ(現「コープデリいいがた」)がコープデリ連合会に加入
○ 船形グロサリー集品センター開設。宅配チラシセットセンター移転開設
○ 「コープデリでんき」事業開始
- 2018年度 ○ コープデリ商品検査センターを移転・拡張し開設
- 2019年度 ○ 「コープデリガス」事業開始
- 2021年度 ○ 新潟グロサリー集品センター開設、新潟物流センターを新潟要冷蔵集品センターとして増床開設
○ 桶川デリカセンター開設
○ SDGs重点課題推進スローガン「未来へつなごう」策定
- 2022年度 ○ コープいいがたとコープクルコが組織合同しコープデリいいがたが誕生
○ コープデリ連合会30周年
- 2023年度 ○ 「健康経営」を宣言、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定
- 2024年度 ○ 「コープデリグループビジョン2035」策定
- 2025年度 ○ 宅配事業「夏季一斉配達休業」を初めて実施
- 2026年度 ○ 「コープデリグループ人権方針」策定

コープデリ連合会とグループの概況

※数値は2026年3月20日現在(事業高は2025年度)

名称	コープデリ生活協同組合連合会	事業エリア	1都7県(千葉県/埼玉県/東京都/茨城県/栃木県/群馬県/長野県/新潟県)
設立年月日	1992年7月21日	出資金	433億3,200万円
会員数	6会員	職員数	正規職員690人(949人) パート・アルバイト職員615人(938人) ※カッコ内は出向者を含む人数です
主な事業	供給事業	事業高	4,722億4,741万円
	利用事業	本部所在地	〒336-8526 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
	会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工しもしくは加工しないで、または生産して会員に供給する事業	電話番号	048-839-1371(代表)
	物流、商品媒体作成、システム共同化による開発ソフトの作成、その他コープデリ連合会が会員の事業に必要な各種機能やサービス等を提供し、会員が共同して利用する事業		

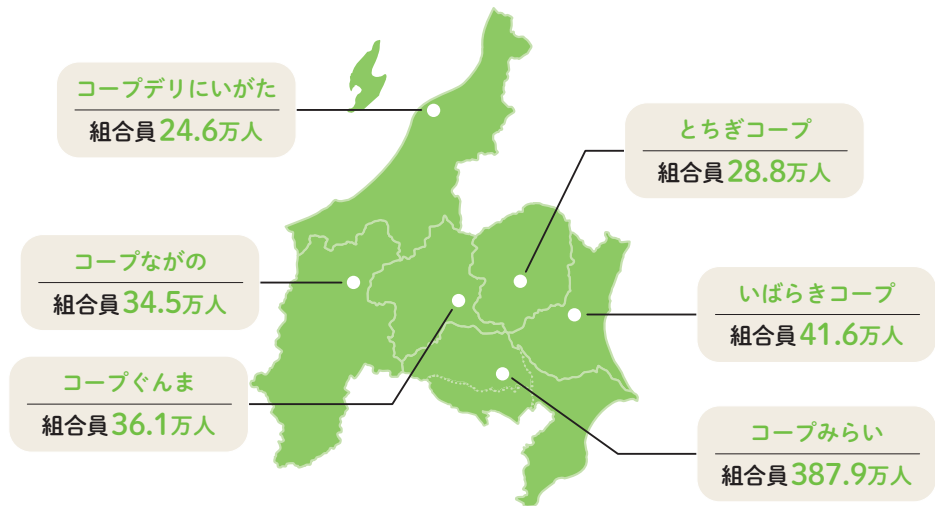
役員体制 (法定役員の常勤役員を中心に記載しています)

代表理事	熊崎 伸	多田 眞	鳥羽 治明
副理事長	河田 喜一 登坂 康史	西野 通広	常務理事
代表理事 専務理事	大川 昌彦	山口 真司	長島 淳一 成田 章二
		飯島 幸治	常勤理事
		風間 徹	圓尾 佐智子
			常勤監事
			稲生 修

(2026年6月20日現在)

コープデリグループ
会員生協合計

組合員数合計 **553**万人
事業高 **6,213**億円



会員生協 ※各職員数は出向者を除く人数。

生活協同組合コープみらい

住所	〒336-8523 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
設立年月日	2013年3月21日
代表理事	熊崎 伸
出資金	726億9,486万円
職員数	正規職員3,083人 パート・アルバイト職員10,320人
事業高	4,379億8,410万円

いばらきコープ生活協同組合

住所	〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地1703
設立年月日	1971年10月24日
代表理事	木村 千秋
出資金	143億9,355万円
職員数	正規職員489人 パート・アルバイト職員926人
事業高	438億714万円

とちぎコープ生活協同組合

住所	〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町858
設立年月日	1973年6月29日
代表理事	塚原 政雄
出資金	88億5,959万円
職員数	正規職員283人 パート・アルバイト職員577人
事業高	303億951万円

生活協同組合コープぐんま

住所	〒376-8523 群馬県桐生市相生町1-111
設立年月日	1956年4月23日
代表理事	大貫 晴雄
出資金	63億5,419万円
職員数	正規職員344人 パート・アルバイト職員860人
事業高	342億5,701万円

生活協同組合コープながの

住所	〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668
設立年月日	1992年9月21日
代表理事	丸山 辰明
出資金	136億5,985万円
職員数	正規職員458人 パート・アルバイト職員569人
事業高	460億1,846万円

生活協同組合コープデリにいがた

住所	〒950-1194 新潟県新潟市西区山田2309-7
設立年月日	2022年3月21日
代表理事	登坂 康史
出資金	61億1,714万円
職員数	正規職員218人 パート・アルバイト職員280人
事業高	289億4,032万円

グループ会社等

株式会社コープデリ保険センター

所在地	〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-3
電話番号	048-711-2756
設立年月日	1989年9月25日
資本金	1億円(2026年1月31日現在)
代表者	伊藤 裕紀
事業内容	1.生命保険の募集に関する業務 2.損害保険代理業務
売上高	17億5,082万円(2025年度)
社員数	正社員71人 パート・アルバイト社員55人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社コープデリサービス

所在地	〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-3
電話番号	048-864-1810
設立年月日	1991年3月11日
資本金	5,000万円(2026年1月20日現在)
代表者	大里 弘志
事業内容	1.各種チケット販売 2.ハウジング(新築・リフォーム)の請負および斡旋 3.くらしのサービス(ふとん丸洗い・打ち直し、引っ越し等)の斡旋 4.葬祭事業全般(葬儀・墓石・仏壇等)の斡旋
売上高	15億9,825万円(2025年度)
社員数	正社員51人 パート・アルバイト社員53人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社コープデリフーズ

所在地	〒363-0002 埼玉県桶川市赤堀1-2
電話番号	048-728-1649
設立年月日	1969年12月26日
資本金	7,110万3千円(2026年1月20日現在)
代表者	笹沼 文晴
事業内容	1.畜産物の加工処理ならびに販売 2.畜産物の生産および販売 3.各種調味食品、惣菜品およびパン生地等、その他食品の製造販売 4.上記事業にかかわる共同利用施設に関する事業
売上高	246億32万円(2025年度)
社員数	正社員138人 パート・アルバイト社員540人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・95%

協栄流通株式会社

所在地	〒359-0013 埼玉県所沢市大字城1-1
電話番号	04-2945-3671
設立年月日	1982年5月7日
資本金	1億円(2026年1月20日現在)
代表者	遠藤 拓雄
事業内容	1.コープデリ連合会物流業務(店舗物流庫内業務・宅配物流集品センター業務) 2.一般貨物自動車運送事業 3.OCR集計業務
売上高	328億4,526万円(2025年度)
社員数	正社員352人 パート・アルバイト社員2056人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社協同開発

所在地	〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
電話番号	048-839-1603
設立年月日	1991年3月29日
資本金	1,040万円(2026年1月20日現在)
代表者	渡辺 克則
事業内容	1.不動産の売買、賃貸借、管理および仲介に関する業務 2.宅地造成、建物の設計、管理および施工に関する業務
売上高	1億3,815万円(2025年度)
社員数	正社員11人 パート・アルバイト社員2人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社コープワーキングサポート

所在地	〒359-0012 埼玉県所沢市大字坂之下166-3
電話番号	04-2944-1085
設立年月日	2006年3月22日
資本金	1,000万円(2026年1月20日現在)
代表者	川手 茂一
事業内容	1.労働者派遣法にもとづく労働者派遣事業(宅配・物流事業所等) 2.警備業法に基づく警備業務 3.コープデリグループ各事業所の請負事業(衛生管理業務、資産管理業務、事務機器・自販機管理業務、倉庫作業(宅配・物流)、印刷業務、メール便・消耗品業務、包装資材センター業務)
売上高	16億1,732万円(2025年度)
社員数	正社員36人 パート・アルバイト社員375人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

コープデリ酒類販売株式会社

所在地	〒336-8526 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
電話番号	048-839-1792
設立年月日	2000年4月25日
資本金	300万円(2026年1月20日現在)
代表者	井上 桂一
事業内容	1.酒類および食品の総合卸売業および販売 2.酒類および食品の製造および販売 3.酒類および食品の輸入および販売 4.酒類および食品その他の商品企画・開発・育成コンサルティング
売上高	30億8,368万円(2025年度)
社員数	正社員3人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社トラストシップ

所在地	〒359-0012 埼玉県所沢市大字坂之下166-3
電話番号	04-2945-3634
設立年月日	2016年1月21日
資本金	6,000万円(2026年1月20日現在)
代表者	土居 信昌
事業内容	1.貨物自動車運送事業法にもとづく各事業(一般貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業、貨物自動車利用運送事業) 2.倉庫内荷役作業の請負業務 3.宅配センターの管理運営業 4.宅配センター内の作業請負業 5.産業廃棄物・一般廃棄物の収集、運搬処理の請負業 6.損害保険代理業 7.自動車リース業、自動車リース代理業 8.労働者派遣業
売上高	97億8,463万円(2025年度)
社員数	正社員1361人 パート・アルバイト社員397人
出資者・出資比率	コープデリ連合会・100%

株式会社コープミート千葉

所在地	〒289-3182 千葉県匝瑳市今泉5332
電話番号	0479-67-1201
設立年月日	2002年11月11日
資本金	8,500万円(2026年2月28日現在)
代表者	笹沼 文晴
事業内容	1.農畜水産物の加工および販売 2.弁当、惣菜等調理用品の製造および販売
売上高	29億9,323万円(2025年度)
社員数	正社員28人 パート・アルバイト社員等106人
出資者・出資比率	株式会社コープデリフーズ・57%

※代表者は2026年6月現在
※各社員数は出向者を含む人数です



コープデリグループのマスコットキャラクター
“ほべたん”と愛犬のきなこ

